

平成 30 年 4 月 8 日

病院・薬局実務実習関東地区調整機構  
平成 29 年度事業報告

1. 会議開催状況

- 1) 運営委員会 2 回（4 月 24 日、11 月 20 日：東京都病院薬剤師会事務局）
- 2) 総会 2 回（5 月 25 日：星薬科大学、12 月 15 日：明治薬科大学）
- 3) 大学小委員会 2 回（5 月 25 日：星薬科大学、12 月 15 日：明治薬科大学）
- 4) 薬局小委員会 2 回（5 月 25 日：星薬科大学、12 月 15 日：明治薬科大学）
- 5) ルーブリック評価・実習計画書 WG 会議 3 回（6 月 7 日：明治薬科大学、9 月 29 日、11 月 13 日：慶應義塾大学芝共立キャンパス）
- 6) 認定実務実習指導薬剤師養成小委員会 1 回（12 月 1 日：帝京大学板橋キャンパス）

2. 実務実習施設の割り振り調整作業

1) 平成 30 年度の割り振り調整

前年度と同様のスケジュールにより Web 上で大学のエントリー入力方式で病院・薬局ともに支障なく行った。エントリーは 3 回行い、病院については、関東全域について他地区からのエントリーも受け付け、薬局については長野、山梨、新潟、栃木、茨城、群馬は 1 回目から受け付け、2 回目以降、埼玉、千葉、神奈川、東京を含めた全域で受け付けた。割り振り調整の結果、支障なく割り振りを完了した。

2) 平成 30 年度ふるさと実習（地区内外）の割り振りについて

ふるさと実習（地区内外）を推進した。30 年度の地区外（7 地区）への希望者は、病院 48 名（決定 46 名）、薬局 35 名（決定 35 名）であった。東北地区および東海地区が比較的多かった。また、地区外から希望者は東北地区、東海地区、近畿地区からあり、病院 29 名（決定 20 名）、薬局 30 名（決定 24 名）であった。昨年並みの数字であり、更なる推進対策を検討する必要がある。

3. 実務実習の円滑な実施に向けた事業等（トラブル、データベース、ふるさと等）

1) 平成 29 年度実務実習の円滑な実施と評価に向けた取り組み

(1) 各期について実務実習実施状況調査

第 I、II、III 期実習について、各大学および地区病院薬剤師会・薬剤師会に実務実習実施状況調査を行った。III 期についてはまとまり次第報告する。トラブルに関してはこれまでと類似の事例が報告され、連携等に関しては問題なく行われていた。

(2) 実務実習に関するトラブル事例の収集と防止策の検討

実習状況報告の他、トラブル事例を収集しトラブル防止小委員会にてトラブル解析および対応策の検討を行い、総会にて報告した。トラブル事例集の作成と提供を継続して検討している。

### (3) 実務実習に関する良い実習事例の収集

大学から良い実習事例を収集し、総会にて報告した。また、評価委員会を立ち上げた。

## 2) 実務実習の質の担保への取り組み

実習施設概要および認定実務実習指導薬剤師の一元管理のためのデータベースの構築を行い、各地区での実務実習の質の向上の取り組みに活用していただくように各都県薬・病院薬剤師会での施設概要データベースの閲覧を可能とした。また、ふるさと実習への活用として他地区の調整機構事務局での閲覧も可能とした。また、アドバンスワークショップにおいて修了証を発行することにより認定実務実習指導薬剤師の管理につなげた。

## 4. 認定実務実習指導薬剤師の養成 / 認定実務実習指導薬剤師の資質向上

### 1) 新認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップの開催：5回（10P）

第1回：平成29年8月19、20日、日本大学薬学部（千葉県、東京都）

第2回：平成29年9月17、18日、横浜薬科大学（神奈川県）

第3回：平成29年9月23、24日、日本薬科大学（埼玉県、栃木県）

第4回：平成29年11月25、26日、長野県薬剤師会医薬品総合研究センター（長野県、群馬県、新潟県）

第5回：平成30年1月7、8日、帝京大学板橋キャンパス（調整機構、東京都、保険薬局協会）

新認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップについては開催を1つの地区ではなく多地区合同で開催する方針で実施した。

### 2) 認定指導薬剤師の資質の向上のためのアドバンスワークショップの開催

1都9県の薬剤師会および日本保険薬局協会を担当事務局としてWS形式で計26回（45P）のアドバンスWSを行い、学習成果基盤型教育に対応したカリキュラムプランニングの浸透を図った。アドバンスWSの修了者には関東地区調整機構より修了証を発行した。

## 5 改訂モデル・コアカリキュラムへの対応

### 1) ルーブリック評価基準および実習計画書に関する対応

ルーブリック評価・実習計画書WG会議を3回開催し、ルーブリック評価基準の方針として、薬局実習は薬局実習用の基準を、病院実習は病院実習用の基準を使用するという方針を決定した。また、大学が提示する実習内容についての雛形を作成した。両者について第2回総会にて承認を得た。これにより大学間の相違による混乱を最小限にすることができるものとする。

### 2) 4期制および新たな薬局実習割振り方法に対応したシステムの改築

現行の割振りシステムについて4期制および新たな薬局実習割振り方法に対応できるように改築を行い全大学においてトライアルを行って問題ないことを確認した。